

緑の相談コーナーだより



いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

今月の便り

丁子草について

子草 キョウチクトウ科 チョウジソウ属 学名アムソニア。四国と九州の一部をのぞく日本全国に分布するキョウチクトウ科の宿根草で、開花期 5～7 月、日陰半日陰程度を好み、肥料は春と秋に化成肥料を少々与えます。新緑の時期に咲く筒状の花を「丁子」に見立てて命名されました。水色の細い花びらの星形の花が印象的で、秋には紅葉する魅力的な宿根草です。栽培が簡単でローメンテナンス。品種で多少の差はありますが、最低温度 -30℃耐寒性ゾーン 4b～、草丈は60-90cmくらいになります。国内では日本の丁子草が少し流通する程度ですが、海外では原種や園芸品種が沢山あります。季節ごと、庭の中に彩る丁子草を改めて品種の違いを確かめるのも楽しいですね。気温が下がる秋に美しい紅葉が見られます。四季折々、1年を通して見飽きる事が有りません。(たかはし)

ジャガイモ・の呼び名・・・1

ジャガイモは別名・異名が多い作物です。この多さは、沖縄県の離島から北海道最北端まで広くつくられ、かつては主食にもなった側面をもつ野菜であり、調理も簡単で取っつきやすい面のある身近な食べ物であることに起因しています。あなたの御両親はジャガイモを何と呼んでいますか？ニドイモ、ゴショウイモ、それともキンカイモでしょうか。ちなみに、私の祖父はニドイモ、祖母はキンカイモでした。ニドイモなら東北か近畿の出身、単にイモとかゴショウイモやバレイショなら北海道あたりと言えば当たる確率が高いでしょう。キンカイモは、本州の西岡山、山口県方面です。ジャガイモは関東から中部地方に広く使われていましたが、これが標準語化しつつありますので私もこれを使っています。ニドイモ(二度イモ)は年間の栽培回数から名付けられ、ジャガイモの普及移動に従い年1度しか収穫できない東北地方で使われ、ゴショウイモ(五升イモ)は1坪(1株?)からとれる量の多さを表わし、ナシイモ、マンジュウイモなどは形が似ているからとか。(ながやす)

次号に続く(8月号)

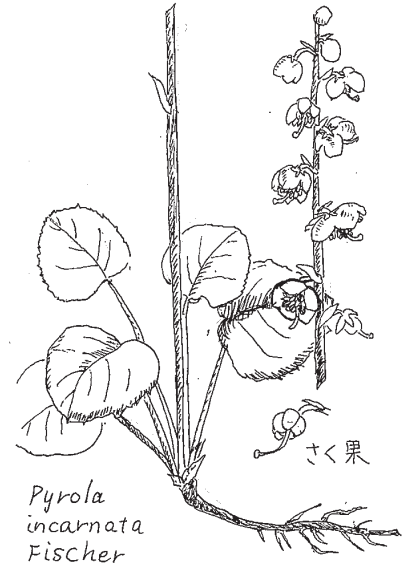
天然由来の農薬

6月に入った頃から1日の最低気温も10度を下まわることがほとんどなくなり、植物の成長も安定して、初夏の草花が咲き出します。多くの人が虫や病気が気になり始めるのもこの頃からでしょう。環境保全型の農業の考え方は園芸界も同じで、できれば無農薬で何とかしたいと思っている人も多いように思います。最近は天然由来の農薬も多く出ているので店頭で探してみてください。自然界では生きるのに環境が合えば発芽して生育する植物です。人間が作った畑も庭もそこに育てられている植物も不自然な存在なのです。大きく育てると肥料過多になれば虫は大量発生するし、それに伴い農薬を撒けば、虫や病原菌と一緒に良い菌や虫も死んでしまいます。一番良いのは虫の場合は捕殺ですが、使うならなるべく環境に負荷をかけない薬を使う事が大事です。そして植物を育てるのに良い土作りをすると良いでしょう。(きのした)

*「今月の便り」次ページへつづく⇒

イチヤクソウ

イチヤクソウ（一葉草）はツツジ科イチヤクソウ属の常緑多年草です。北海道、本州、四国、九州などの低い山地の林に分布しています。名前に「薬」という文字が入っていますが実際に生薬として利用されています。葉の間から15～25cmほどの茎をのぼし、1センチほどの白い花を3～10個ほど下向きに咲かせます。花弁は深く5つに裂けており梅の花に似ています。ベニバナイチヤクソウは赤い花を咲かせるのが特徴のイチヤクソウの仲間ですが単に色違いというわけではなく別種です。北海道や本州中部以北の針葉樹林に分布します。ベニバナイチヤクソウが特徴的なのは、半寄生の植物である事です。光合成を行います、足りない栄養を菌類から接種しています。そして面白いのは、発芽の時に共生する菌類と、葉が成長してからとでは、菌類の種類が違う（菌類を乗り換える）事です。菌根を持ち、根に共生する菌類から栄養を吸収する、こうした植物は菌従属栄養植物と呼ばれますがその中で、ベニバナイチヤクソウは光合成能力もあるので、部分的菌従属栄養植物と言われます。（いとう）



緑の相談コーナー Q&A

Q サツマイモは岩見沢で作ることができますか(・・・?)
育て方は(・・・?)

A 岩見沢でも作ることができます。

サツマイモは高温や乾燥に強く、やせた土地でもよく育つ丈夫な野菜です。窒素分が多すぎるとイモが太らないので、肥料は控えめに。ツルを繁茂させないのがサツマイモ栽培のコツです。

肥料は、イモの肥大に大切なカリを多めに、チツソ・リン酸がバランスよく配合されたイモ専用の肥料があります。気温が上がってくるとツルの伸びが活発になり、放置しておくと隣の畝を覆うほどになってきます。伸びたツルが土につくと、葉のつけ根の部分から根を出します。イモは根に養分が蓄積したもののなので、放っておくと地表を這うツルにも芋がつき、養分が分散してしまいます。それを防ぎ、植えつけた部分の芋だけを肥大させるために、つる返しを行います。地面に根を張ったツルの先を持ってたぐり上げ、根こそぎ剥ぎ、ツルを見つけたら適宜行っておきましょう。サツマイモは「連作障害」はありません。毎年同じ場所に植えることが可能です。



ひとつき ひとバラ



文： 曾 根 浩 太
(いわみざわ公園バラ園)



第百十五回

アルバローズ

アルバセミプレナ

Alba Semi-plena

作出国：不明

作出者：不明

作出年：1623 年以前

ハーディネスゾーン：Z3

一季咲き

交雑：アルバマキシマの枝変わり

今年はモダンローズの咲きはじめが早く、この後花が続くのかどうか少しドキドキしています。オールドローズは例年並みなのでオールドとモダンローズが一気に咲き揃い、6月下旬はとても花数の多くなりました。今回はオールドローズの小径に入ってすぐの角に植えているアルバセミプレナについてお話ししたいと思います。アルバセミプレナはアルバマキシマの枝変わりとして 1623 年以前に発見されたバラです。発見者や国は不明ですが、現代まで多くの人が愛されている品種ですね。高さ 3m、幅 1.5mにもなる大型のバラで、枝は伸びますが自立できる品種なので誘引はしなくても問題ありません。花は白の半八重中輪咲きでレモンのような柑橘系の爽やかな香りでとてもいい匂いです。ほとんどのオールドローズと同様に一季咲きですが、細長く赤いヒップが秋には楽しめます。また、なんといってもアルバ系統の良さは青みがあった葉ですね。白花とこの葉は相性抜群で香りも相まって清涼感のある雰囲気を作ることができます。耐寒性、耐病性についてもとても強く、無農薬、こも巻きなしの

冬囲いで全く問題なく生育することができます。名前のアルバはラテン語で「白」を意味し、バラ以外の植物でもよく使われていますね。セミプレナは「半八重」を意味する言葉になります。系統の名前のアルバローズは原種ではなく交雑によって生まれたバラとされておりますが、白バラの祖と呼ばれており、今日までの白バラに影響を強く与えております。アルバローズ自体は現存しておりませんが、古代のアルバローズに一番近いといわれているのがアルバセミプレナです。古くから親しまれてきたバラで、名画の「ヴィーナスの誕生」に描かれているバラはアルバセミプレナではないかといわれています。また、15 世紀にイギリスの王位継承権をめぐるヨーク家とランカスター家の間で起こったバラ戦争でヨーク家の家紋としていた白バラもこのバラではないかといわれています。一季咲きなので年に 1 回しか花は咲きませんが、生育が旺盛で安定した品種というのは凍害のストレスもなく育てることができます。古くから慕われてきたオールドローズにも是非目を向けていただけたらと思います。

今月の市民園芸講座のご案内



- 7月6日(土) 10:00～12:00 バラ管理スタッフのローズツアー
料金:無料 定員:40名 講師:バラ園スタッフ
- 7月7日(日) 13:00～15:00 盆栽づくりの楽しさ
料金:1,000円 定員:40名 講師:桑内 彦さん
- 7月15日(月祝) 10:00～12:00 バラ管理スタッフのローズツアー
料金:無料 定員:40名 講師:バラ園スタッフ
- 7月20日(土) 10:00～12:00 ばらゼミ⑤
料金:無料 定員:40名 講師:古舘 杏奈さん
- 7月21日(日) 10:00～12:00 バラ管理スタッフのローズツアー
料金:無料 定員:15名 講師:バラ園スタッフ
- 8月4日(日) 13:00～15:00 ミニ盆栽を仕立てよう
料金:2,000円 定員:20名 講師 君島 信博さん
- 8月17日(土) 10:00～12:00 ばらゼミ⑥
料金:無料 定員:40名 講師:古舘 杏奈さん

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<https://iwamizawa-park.com/>

※資料をご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申し込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日3～4日位前までにお申し込みをお願いいたします。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。